



Over the Horizon ~新たな景色へ~

6月の月目標「脚下照顧」

「脚下照顧」は禅の言葉です。

本来の意味は、玄関の履き物を揃えるということです。

深い意味は、先のことに目や気持ちがいつて、今していることを慌てていい加減にすませるのではなく、しっかりと自分の足元を見つめ、心を込めて今すべきことに専心して行うということであり、丁寧に今この瞬間を生きることが大切だという教えです。



一学期も後わずかになりました。終業式まで気持ちを引き締めて、目の前のすべきことに集中して取り組みましょう。

気づき、考え、行動を変える

昨年11月に実施した中村文昭氏の講演を2・3年生は覚えていますか。生徒玄関には、その時中村氏に書いていただいた色紙「頼まれ事は試され事」が飾られています。この言葉も真理をついていますが、中村氏は「言葉を大事するように」とも言っておられました。その通りだと思います。下のマザー・テレサやガンジー、芥川龍之介の言葉もそのことを含んでいると思います。よりよい人生を送るために、幸せになるために。

☆マザー・テレサ

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。



☆マハトマ・ガンジー

信念が変われば、思考も変わる。
思考が変われば、言葉も変わる。
言葉が変われば、行動も変わる。
行動が変われば、習慣も変わる。
習慣が変われば、人格も変わる。
人格が変われば、運命も変わる。

☆芥川龍之介

『運命は偶然よりも必然である。
「運命は性格の中にある」といふ
言葉はけっして等閑（なおざり）に
生まれたものではない』

失敗は、成長・発展の踏み台になる

失敗を恐れて何もしないことは、無難な人生かもしれませんが、成長がなく、感動もありません。世の中には「失敗は宝」という考え方もあります。なぜなら、失敗の中には成功しなかった原因や理由が隠れており、そのことを深く見つめ考えることで、次に同じような機会や状況に出会えば、同じ失敗を繰り返えさずにすむからです。

だからこそ、若いうちに多くの失敗をして、その都度しっかり考え反省することで、大人になってから大きな失敗や取り返しのつかない事態を招かなくて済みます。

さらに、次に挑戦するときは成功する確率が高くなっているはずです。

若いうちの失敗は失敗ではなく、成長の糧です。様々なことに挑戦していきましょう。夏休みは、いろんなことに挑戦する絶好の機会です。有意義に過ごしましょう。

「失敗は私に 私の一番いけないところを 教えに来てくれた 大切なお使い （東井義雄）」

【下のクイズを考えてみましょう】

○ 機会（チャンス CHANCE）を変化・成長につなげるにはどうしたらよいですか。

CHANCE →

○ 不可能（IMPOSSIBLE）を可能にするためにはどうしたらよいですか。

IMPOSSIBLE →

○ 辛いことをしあわせなことに変えるためにはどうしたらいいですか。

辛い →

○ 人生においては、少し立ち止まってじっくり考えることがとても大事です。

失敗は、そうした時間をくれる、貴重な経験かもしれません。

いろんなことが見えてきて、より正しい判断ができたりもします。

なぜなら、**正**しいは、**止**まるに**一**足しただけです。

心を育み、脳を活性化する読書

ロシアとウクライナの戦争が未だ続いている中、戦争の不条理、平和の大切さ、平和を維持することの重要性を改めて実感します。下の本も読んでみてください。

「日輪の遺産」 浅田次郎 著

マッカーサーから奪った日本の遺産を女学生たちが守ります。とても感動します。

「出口のない海」 横山秀夫 著

徳山の馬島にも基地があった人間魚雷「回天」特別攻撃隊のお話で胸に迫ります。

「永遠の0」 百田尚樹 著

太平洋戦争の末、特攻出撃で亡くなった零戦パイロットの深い愛いに感涙します。

「月光の夏」 毛利恒之 著

若き特攻隊委員が、最後の思い出にピアノを引き出陣していく、琴線が震えます。

「小説あの日のオルガン」 五十嵐桂子 著

戦争末期、東京の保育所を舞台に幼児と先生、親子等の関わりが、心に響きます。